

まちの話題



「新移動図書館の愛称を考案した免澤環太さん」



宝くじの助成で整備 新移動図書館車

3月6日に、文化の社交流
館コモッセで、宝くじの*コ
ミニユニティ助成事業を活用し
整備された新移動図書館車
お披露目式と愛称考案者の表
彰式が行われました。

新しい移動図書館車の愛称
は、83件の応募の中から、「あ
おぞらぶつく号」に決まりま
した。愛称を考案した免澤環
太さんには、表彰状と記念品
が贈られました。一日館長と
して貸し出し体験を行った免
澤さんは「みんなにいいっぱい
本を読んでもほしい」と話し
ました。

*コミュニティ助成事業について、
詳しくは25ページをご覧ください。



明治安田生命保険相互 会社と連携協定締結

2月22日、明治安田生命保
険相互会社と市が、包括連携
協定を締結しました。

協定では、地域の観光・文
化の振興やスポーツを通じた
子どもの健全育成および市民
の健康増進、市民サービス
の向上、地域活性化に関するこ
となど、幅広い分野において
協働で取り組みを展開してい
くこととしています。

明治安田生命保険相互会社
の知見秋田支社長は「健康寿
命の延伸と地域活性化に貢献
し、持続可能なまちづくりの
ため取り組んでいきたい」と
話しました。



行動する社会教育委員 社会教育功労者表彰

社会教育委員の石井勲さ
んが、長年の功績を讃えられ、
社会教育功労者表彰（文部科
学大臣表彰）を受賞し、3月
12日に受賞報告のため児玉市
長を訪れました。

石井さんは、「行動する社
会教育委員」を目指し、社会
教育委員が学校施設の訪問を
行うシステムの構築や、近隣
の市町村との研修会において、
情報交換を行う場づくりを提
案するなど、活動の活性化に
大きく貢献されました。

これらの活動について、石
井さんは「地域の素材や人材
を生かして、教育に深みが出
るよう取り組んでいきたい」と
と今後の取り組みに意欲を示
しました。



市民舞台劇 コモッセ5周年記念

2月28日に、文化の社交流
館コモッセの開館5周年を記
念し、ミュージカル風の市民
舞台劇が行われました。

「輝く未来、この空の下で」
と題した舞台劇は、本市の歴
史を振り返りながら、明るい
未来を願うという物語で、市
内の保育園児や市民劇団が出
演したほか、本市出身の歌手
などがオンラインで登場しま
した。

会場には多くの市民が訪れ、
ユーモアある劇を楽しんでい
ました。



喜びを分かち合う 高校合格発表

3月17日に、花輪高校と十
和田高校で合格発表が行われ、
入学試験を受けた生徒が受験
校に集まりました。

今年的一般入学試験は3月
9日に行われており、合格者
は花輪高校が108人、十和
田高校が37人でした。

発表会場では、合格者の受
験番号が書かれた用紙が掲示
されると、「やったー」「受かつ
た」などの歓声が起こりまし
た。その後は、ともに受験勉
強に取り組んだ友だちと抱き
合ったり、保護者に笑顔で報
告したりして、合格を喜んで
いました。



母校へ感謝 スノーキャンドル

花輪北小学校と平元小学校
の閉校を記念し、スノーキャ
ンドルに明かりを灯すイベン
トが行われました。

花輪北小学校では、1週間
ほど前から準備した約千個の
雪灯ろうに、3月4日と5日
に明かりが灯され、校庭には、
キャンドルでできた「ありが
とう」の文字が浮かび上がり
ました。

平元小学校では、「キャンド
ルナイト」と題し、3月6日
と7日、校庭と平元小学校か
ら柴平小学校（旧花輪第二中
学校）までの道に、約千個の
スノーキャンドルが灯されま
した。

訪れた地域の方々には、閉校
を惜しみながらも、幻想的な
スノーキャンドルの美しさに見
入っていました。



思い出を胸に 尾去沢保育園閉園式

3月18日に、尾去沢保育園
で最後の卒園式が行われ、卒
園する園児と在園児、保護者
らが参列しました。

卒園式では、名前を呼ばれ
た卒園児一人ひとりが、卒園
証書を受け取り、保護者に声
をかけながら花束を手渡しま
した。

卒園式の後には閉園式が行
われ、尾去沢地区の保育園の
68年にわたる歴史が幕を下ろ
しました。

保護者代表の藤原真由美さ
んは、「尾去沢保育園は記憶や
思い出として、ずっと残ってい
きます。別れの後には出会
いがあり、これからは花輪さく
ら保育園に通うことになりま
すが、新しい出会いを経験し
ながら前に踏み出してほしい」と
話しました。

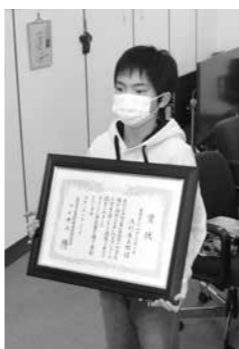
最後には園児によるセレモ
ニーが行われ、園児らは「あ
りがとうございました」と声
をそろえて、お世話になった
保育園に感謝の言葉を贈りま
した。

障がい福祉ふれあい 作文会長賞を受賞

公益財団法人日本知的障害
者福祉協会が主催する第7回
全国小・中学校障がい福祉ふ
れあい作文コンクールで、十
和田小学校6年生（受賞当時）
の浅利康太郎さんが会長賞に
選ばれ、3月19日に崑山教育
長に受賞を報告しました。

作文は「障がいのある人と
ふれあって感じたこと」とい
う題名で、障がいのある方々
と共に仕事をする父の言葉を
きっかけに、相手の立場に立
ち、思いやることの大切さに
気付いたことから、困っている
方に手を差し伸べたいという
決意が込められています。

作文コンクールの受賞は、
文部科学大臣賞（小中学生各
1人）、厚生労働大臣表彰（小
中学生各1人）、会長賞（小中
学生各2人）、入選（98人）と
なっています。



広報かづの「まちの話題」 掲載写真の提供

このページに掲載してい
る写真は、無料で提供して
います。写真を希望される
方は、お問い合わせくださ
い。（著作権などの関係で提
供できない場合があります）

政策企画課 政策推進班
☎ 30・0205

